

別記1

業 務 概 要 書

1 業務概要

- (1) 業務名
白河実業・塙工業統合校実習棟新築設計委託
- (2) 業務箇所
白河市瀬戸原 地内
- (3) 業務箇所に関する管内
県南建設事務所管内

【位置図】



(4) 業務内容

- ① 種 別 建築設計
- ② 業務内容 工業系実習棟の新築工事に係る基本及び実施設計
実習棟 地上2～3階建て 延べ面積7,900m2程度
- ③ 工期 (予定) 令和3年8月～令和4年10月 (450日間)

2 業務の背景・目的・課題

(1) 業務の背景

県南地域にある白河実業高校及び塙工業高校は、これまで地域産業を支える人材育成に貢献してきたが、少子化に伴う生徒数の減少に伴い、教育活動の面で見直しを迫られている状況にある。このため、県立高等学校改革基本計画により、学校規模の最適化と魅力化を図ることを目指し、再編整備（統合）を進めている。

(2) 業務の目的

県南地域における工業と商業の職業教育推進校として、再編による白河実業高校と塙工業の統合校を現在の白河実業高校に設置する。特に工業系学科については、既存の3学科（機械科、電気科及び電子科）に新たに建築科を加えた計4学科とし、各学科の専門科目のみならず、横断型の探求活動を行うことを計画しており、地域産業を支える人材の育成および統合的な工業の学びや魅力ある教育の実施に向けて、必要となる教育環境を整備するため、白河実業高校校舎の南側にある空地に、新たな工業系実習棟を建設する。

(3) 業務の課題

- 現在の工業系実習施設は老朽化が顕著である上、各科毎に棟別に設置されていることもあり、学科間で連携協力した学びや地域（企業や大学等）と連携した探求的な学習ができる施設環境が整っていない。
- 普通科目等の授業は白河実業高校校舎を利用するため、既存校舎と連携を図りながら、機能的かつ効率的で快適な学習環境を実現する配置計画が求められる。
- 学校施設においてもエネルギー消費コストの低減や自然環境への配慮が必要であり、建設費や維持管理費の低減を図った計画が求められる。

3 評価テーマ

(1) 地域企業、大学との連携、協働を考慮した施設整備に関する具体的な提案

(2) 学科横断的に行う様々な実習、既存校舎との連携等、効率的に学習できる施設整備に関する具体的な提案

(3) 維持管理の容易性、実習内容の変更に伴う改修等が容易な施設整備に関する具体的な提案

(4) エネルギーの効率的な利用とライフサイクルコストの低減に関する具体的な提案

(5) その他の有効な着眼点とその有効な対策の提案